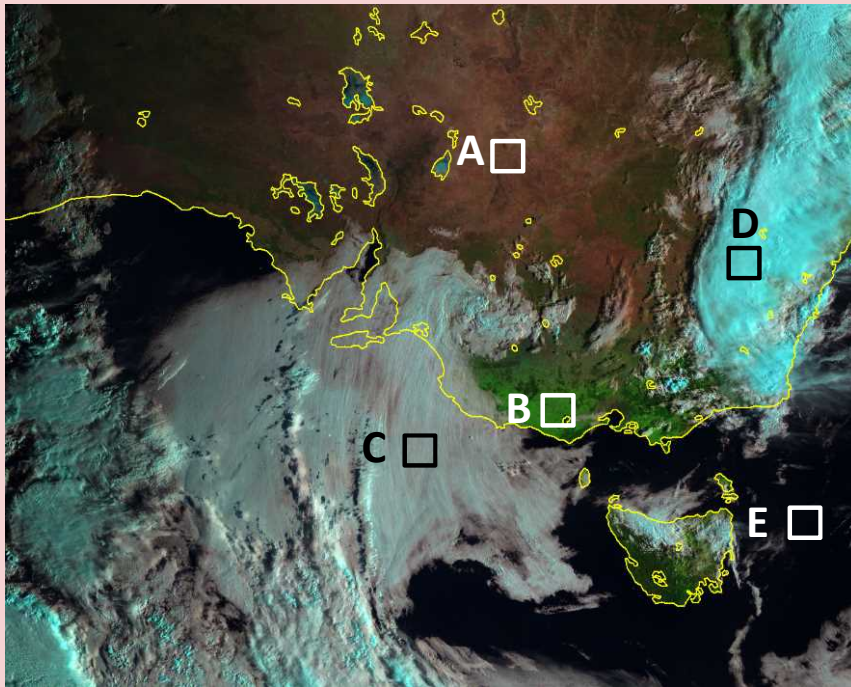


# Himawari Natural Color (日中自然色) RGB

## クイックガイド



オーストラリア南東部における霧を含む下層雲事例。  
本事例では海上から陸地へ向かう下層雲・霧域の  
移流がみられた。(2017年11月18日 6時(JST: 日本  
標準時))

- A ■ : 裸地または砂漠
- B ■ : 植生
- C ■ : 厚い下層雲
- D ■ : 厚い上層雲
- E ■ : 海

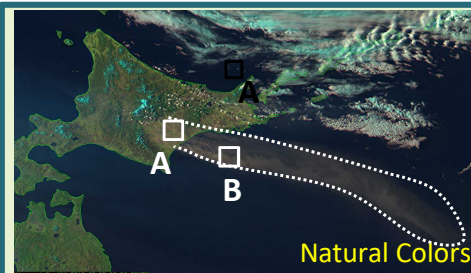
**おもな利用用途:** 地表面の識別(雪氷域、植生、  
裸地など)、氷雲・水雲の判別

### 利点:

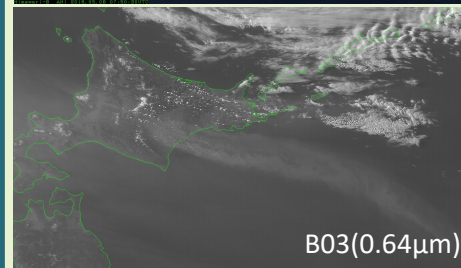
- ・ 氷雲・水雲の判別が容易
- ・ 地表面の状態が直感的に識別しやすい(緑色の植生、茶色の裸地・砂漠、青色の雪氷域)

### 注意点:

- ・ 利用できるのは日中(太陽光の当たる領域)のみ。
- ・ 上層の氷雲と雪氷域の色調が似ているため混同に注意(動画で要確認)。
- ・ シアン色の雲域は氷晶だけでなく、バンド5(1.6  $\mu\text{m}$ )の寄与が小さくなる(反射率が低くなる)大きな粒径の水滴も含んでいる場合がある。



可視画像(下)、  
Natural Color  
RGB合成画像  
(上)ともに強風  
による砂塵(破線  
付近)を識別でき  
るが、Natural  
Color RGBでは特  
に発生源の地表  
の様子がわかる  
ので、砂塵であ  
ることを識別しや  
すい。両画像とも  
ガンマ値1.5に強  
調表示。



北海道付近の砂塵事例(2016年5月  
8日 14時50分(JST))

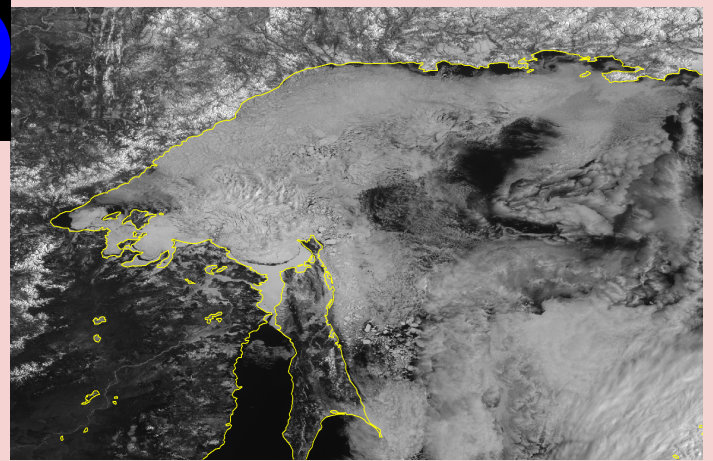
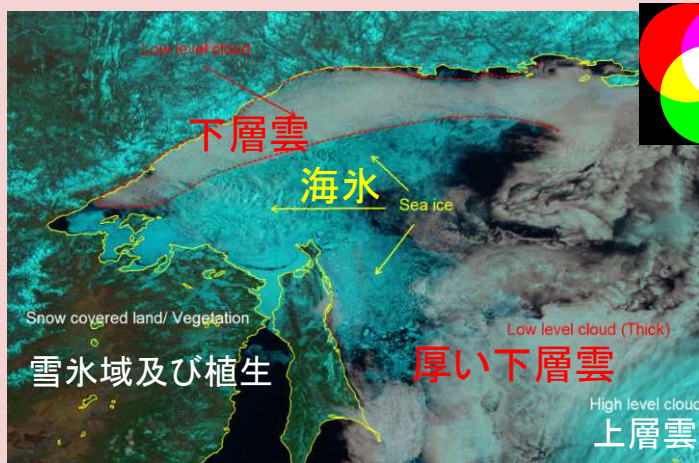
- A ■ : 裸地(耕作地)
- B ■ : 砂塵

### Natural Color RGB 合成画像の推奨設定(調整レシピ)および各色を構成する画像特性

色	AHI 観測 バンド	中心波長 [ $\mu\text{m}$ ]	Min [%]	Max [%]	ガンマ 値	関連する観測特 性	色調への寄与が比較 的小さい観測対象	色調への寄与が比較 的大きい観測対象
赤 Red	B05	1.6	0%	99%	1.0	雲粒の相 雪氷域	氷雲 雪氷域	水雲
緑 Green	B04	0.86	0%	102%	0.95	雲の光学的厚さ 植生	薄い雲	厚い雲 雪氷域 植生
青 Blue	B03	0.64	0%	100%	1.0	雲の光学的厚さ	薄い雲	厚い雲 雪氷域 海水



# Himawari Natural Color (日中自然色) RGB クイックガイド



Natural Color RGB合成画像(左)とバンド3可視画像(右)によるオホーツク海北部の海氷と下層雲の事例。(2018年4月16日 8時(JST))

海氷のピクセルでは赤色のバンド5の寄与が小さい(反射率が低い)ため、シアン色(青色と緑色の寄与が大きい)で表示される。

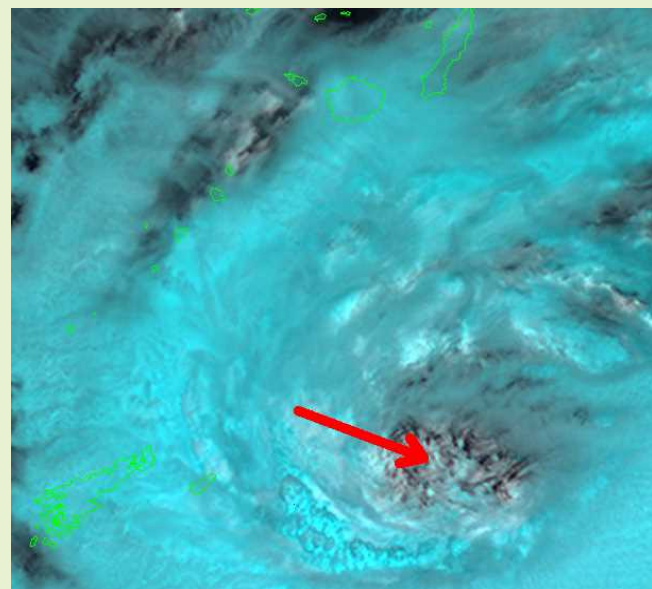
地表の雪氷面や氷晶からなる上層雲も同様にシアン色で表示される(色解釈表を参照)。

可視画像など単独の画像のみによる海氷と下層雲の識別は衛星画像の利用に慣れていないと難しい。

平成29年台風5号(ノルー)の事例。(2017年8月4日 11時38分(JST))

本事例は台風5号(ノルー、T1705)の奄美大島付近接近時の事例を示す。

台風の目の壁雲(アイウォール)の内側に白色の下層雲(図中赤色の矢印)の細かい構造を見ることができる。



## Natural Color RGB 合成画像の色解釈

表示色	解釈
	上層の氷雲
	下層の水雲
	海
	植生
	砂漠
	雪氷域